

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2019-88511(P2019-88511A)

【公開日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2019-022

【出願番号】特願2017-219641(P2017-219641)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0478 (2006.01)

A 6 1 B 5/0492 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 0 0 H

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月31日(2020.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1面と、前記第1面と反対側の第2面とを備える金属板と、
前記金属板に形成された開口部と、
前記開口部の内壁から内側に延在する連結バーと、
前記連結バーの先端に配置され、前記金属板の第1面側に突出する針部と
を備える電極部材を有し、
前記針部の幅は前記連結バーの幅よりも大きく設定され、
前記針部は、両端部に前記金属板の第2面側に突出する突出部を備えていることを特徴
とする生体用電極部品。

【請求項2】

前記針部は、側面視において、先端が尖った三角形又は五角形で形成されていることを
特徴とする請求項1に記載の生体用電極部品。

【請求項3】

前記電極部材の金属板の第2面に貼付された接着フィルムを有し、
前記接着フィルムは、前記金属板の第1面側の面に、前記電極部材から露出する接着領
域を備えていることを特徴とする請求項1又は2に記載の生体用電極部品。

【請求項4】

前記電極部材の連結バー及び針部と、前記接着フィルムとの間にカバー部材が配置され
ていることを特徴とする請求項3に記載の生体用電極部品。

【請求項5】

前記接着フィルムの接着領域を生体表面に接着することにより、前記電極部材の針部を
生体表面に突き刺して固定することを特徴とする請求項3又は4に記載の生体用電極部品
。

【請求項6】

第1面と、前記第1面と反対側の第2面とを備える金属板を加工することにより、開口
部と、前記開口部の内壁から内側に延在する連結バーと、前記連結バーに繋がる針部を形
成する工程と、

前記針部を曲げ加工して、前記金属板の第1面側に突出させることにより、電極部材を

得る工程と

を有し、

前記電極部材を得る工程において、

前記針部の幅は前記連結バーの幅よりも大きく設定され、

前記針部は、両端部に前記金属板の第2面側に突出する突出部を備えて形成されること
を特徴とする生体用電極部品の製造方法。

【請求項7】

前記電極部材を得る工程の後に、

前記電極部材の金属板の第2面に接着フィルムを貼付する工程を有し、

前記接着フィルムは、前記金属板の第1面側の面に前記電極部材から露出する接着領域を備えることを特徴とする請求項6に記載の生体用電極部品の製造方法。

【請求項8】

前記接着フィルムを貼付する工程において、

前記電極部材の連結バー及び針部と、前記接着フィルムとの間にカバー部材が配置されることを特徴とする請求項7に記載の生体用電極部品の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

以下の開示の一観点によれば、第1面と、前記第1面と反対側の第2面とを備える金属板と、前記金属板に形成された開口部と、前記開口部の内壁から内側に延在する連結バーと、前記連結バーの先端に配置され、前記金属板の第1面側に突出する針部とを備える電極部材を有し、前記針部の幅は前記連結バーの幅よりも大きく設定され、前記針部は、両端部に前記金属板の第2面側に突出する突出部を備えている生体用電極部品が提供される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】